

## 第11回マイクロマシン展開催される

第11回マイクロマシン展が、2000年11月8日～10日の3日間、東京・北の丸公園の科学技術館において、第6回国際マイクロマシンシンポジウムと併催する形で開催され、成功裏に閉幕しました。

出展者は、当センターとその賛助会員企業22社を含み、これまで最大の94の内外の企業・団体・大学・研究機関でした。この展示会では、マイクロマシンに関する最新技術や研究成果などが出展され、日本はもとよりアジア地域における最大規模のマイクロマシン技術の専門展示会として、年々規模、内容とも充実してきています。

今回は特に、10年計画で進められてきた通商産業省の産業科学技術研究開発制度における「マイクロマシン技術の研究開発プロジェクト」参加企業から10年間の研究開発の集大成である試作システムが一同に集められて初めて公開、デモンストレーションされました。

一般展示の主な出展品目は、マイクロマシン、そのコンポーネント及び応用システム、MEMS関連システム、分子機械関連技術、マイクロマシン製造関連機器・材料、マイクロマシン評価技術・機器などで、機械・精密機械、電機・電子、医療、情報通信、自動車・輸送、生物、物理、化学、建築、鉄鋼、航空宇宙、船舶・海洋などのあらゆる産業分野において、研究開発、技術、設計、生産・製造、経営・管理に携わる方々のための専門展示会となっています。

マイクロマシンの研究開発に係わる企業にとっては、技術、装置、製品をPRするための機会、大学や研究機関等にとっては、研究成果の発表の機会、また、新規参入の企業にとっては、製品・技術発表のための絶好の機会となっています。

また、展示会が報道でも取り上げられ、11月7日夜NHK「ニュース10」で10時30分頃から約3分間、

さらに9日午後テレビ東京「ニュース・アイ」で5時30分頃から約3分間にわたって、マイクロマシン展が放送されました。また、9日夜NHK衛星第1「BS23、経済最前線」特集マイクロマシンで11時50分頃から8分間、15日朝NHK総合テレビ「おはよう日本・情報ボックス」でマイクロの世界の技術マイクロマシンとして、6分間にわたってマシン展の内容が詳細に放送されました。紹介されたのは「マイクロマシン技術の研究開発プロジェクト」成果の内、「管内自走環境認識用試作システム」（デンソー、三洋電機、東芝）と「細管群外部検査システム」（三菱電機、松下電器産業、住友電気工業）、「マイクロカテーテル」（オリンパス光学工業）及び世界最小の加工・組立工場「マイクロファクトリー」（セイコーインスツルメンツ、ファナック、日立製作所、アイシン・コスモス、安川電機、富士電機総合研究所、三菱電線工業の共同開発）で、開発者のインタビューとともに内部構成・部品にいたるまで詳細に説明されました。

3日間の入場者は、過去最高の約5,500名となりました。多くの方が時間をかけて熱心に展示を見学したり、質問していたため、会場は大変な熱気と混雑でした。

次回第12回マイクロマシン展の開催予定

会期：2001年10月31日(水)～11月2日(金)

会場：科学技術館／東京・北の丸公園

問い合わせ先：

メサゴ・メッセフランクフルト(株)

TEL:03-3262-8441 FAX:03-3262-8442

E-mail:micro@mesago-messefrankfurt.com

URL:http://www.mesago-messefrankfurt.com/micro



見学者で賑わう会場



熱心に見学する小学生グループ